

「ファシリテーションスキル」ワークショップ

コースの概要

・“複数者の協働場面において、問題解決や合意形成を促進するファシリテーションスキルを演習と振り返りを繰り返して習得します。本ワークショップ(以下WS)では、会議やプロジェクト活動に焦点を当て、基本的なファシリテーションの概論とスキルを紹介します。
 ・本WSを数百回提供してきているだけでなく、コンサルティング活動や、自らも事業マネジメントを並行している経験を元に、日常で直面する困難な協働場面への対応の失敗・成功事例を紹介していく進め方を評価頂いています。

受講対象者(前提条件やレベル)

・チームの中心として活動することが期待されるマネジメント、メンバー

ポイント

多くの演習の反復を通じてスキルを理解・習得する
 日常で直面する場面の対応を考える

コース終了後、出来るようになること

・複数者の協働場面において、参画するメンバーの持つ力を最大限に活かしながら成果を手に入れる姿勢と技術が習得されている。

定員(目処)	25名	準備物 ・テキスト・ケース印刷、プロジェクト、ホワイトボード、模造紙、ポストイット ・事例を元にケース作成する場合は、事前のインタビューとケース確認(※別費用)
開催形式	集合研修形式	
日数(時間)	2日間	

コース内容

DAY	DAY 1 ファシリテーションの役割と重要性～仕込み、捌きのスキル				DAY 2 まとめスキル～総合演習				
テーマ	オリエンテーション	ファシリテーションの概論	仕込み	捌き	まとめ	総合演習	自己開発計画		
内容	チームの形成	ファシリテーションの姿勢と技術紹介	合理、情理、環境の準備	動的思考力と対人力	問題場面の対処	確かな成果にする	ケース演習	今後への接続	
進行	WSの開始に先立つ相互紹介においてもスキルを使うことで、チーム形成段階でのファシリテーションを体験する	演習によるチーム活動を通してファシリテーションの重要性と具体的な役割を理解する	「戦略の優秀性」と「メンバーの納得度」を上げて、成果を手に入れることを理解する	会議に焦点を当て、準備の3視点スキルを演習を通じて習得する ・合理 ・情理 ・環境	6+2のスキルを習得する ・場ならし ・引き出す ・見える化 ・進める ・まとめる ・次へ ・プロセス ・場を観る	日常で直面する困難な協働場面への対応を習得する(失敗・成功事例も紹介)	2スキルを習得する ・中身 ・オモイ	習得したスキルを実践により再確認しながら習得定着する	これまでの自分の行動とスキルレベルを振り返り、具体的な今後の開発計画を立てる